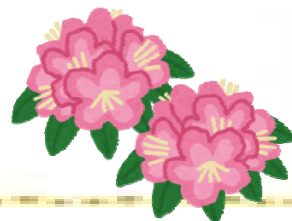


しゃくなげ

学校の教育目標 志をもち 仲間とともに創りだす生徒



志をもち 仲間とともに創りだす生徒

校長 福井敏彦

本日、全校生徒64名、七宗町立七宗中学校が開校しました。大きな節目となる今年度に入學並びに進級された生徒の皆さん、保護者の皆さま、誠におめでとうございます。

学校の教育目標は「志をもち 仲間とともに創りだす生徒」です。今年度のすべての活動が七宗中初めての活動ですので、まさに今年度の羅針盤といえる目標です。

「自律・協働・挑戦」を重点と掲げ、教育目標の具現を図ります。

自律(主体的に考え、判断し、実践し続ける生徒)

よいことも、よくないことも、物事を自分事として考えるか、他人事として考えるか、という問いを生徒に投げかけます。自分事として考え、判断するためには、授業で学ぶ物事の見方や考え方を身につけたり、自己理解を深めたりすることが大切です。授業こそ自律を高める場です。

自分事として考える習慣をつけることで、うまくいかないときも人のせいにするのではなく、自分ができることを自問自答し、実践し続ける姿を大切にします。

協働(お互いの人権を尊重し、誰もが幸せに生きる文化を創り続ける生徒)

今も世界のどこかで争いが起きている現状は「大人でもお互いの人権を尊重できていないじゃないか」と子どもたちに叱られそうです。「お互いを理解しあうこと、人権を尊重しあうことは簡単なことではない」そうわかった上で、それでも可能な限りお互いの人権を尊重し合おうとする姿勢をもつことが、誰もが幸せに生きる文化を創り続ける上で問われていることです。

多様な価値観が大切にされる今の時代、お互い大切にしたいことの優先順位が違うこともあるでしょう。対話を通して、お互いに納得のいく結論を出そうとする姿を大切にします。

挑戦(夢や目標をもち、ねばり強く挑戦し続ける生徒)

「夢」という言葉は、将来なりたい職業といった狭い意味で使っていません。「自分がワクワクするもの」「心から夢中になれるもの」という意味で使っています。多様で豊かな体験をする中で、本当に自分がワクワクするものを見つけてほしいと願います。

まず、やってみること。失敗は当たり前。成功の過程に過ぎません。「七転び八起」の精神で、新たなことに挑戦する姿を大切にします。

学校だよりの名前を町の花である「しゃくなげ」としました。しゃくなげは高山植物で、足元の悪い場所できれいに咲くことから「威厳」(堂々としているさま)という花言葉がついています。「お互いに、どんな場面でも動じず、落ち着いて考え、判断し、実践できる人でありたい」また「いつも心にふるさと七宗を感じ、周りに感謝しながら過ごしたい」という願いから、この名前にしました。新たな学校だよりを多くの皆さまにご拝読いただき、叱咤激励いただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。